

## 第1章 日本文化のあけぼの

### 3. 古墳とヤマト政権①

教科書 pp.23-33

資料集 pp.38-46

<古墳の出現とヤマト政権／前・中期の古墳>

弥生後期の墳丘 → 大規模な古墳へ

→各首長の共通意識で作られた墓制 = 画一的

⇒広域の政治連合があった！ Ex) ① \_\_\_\_\_

形…円墳・方墳, ② \_\_\_\_\_, 前方後方墳…  
数が多い 大規模＝有力者

最大のものは③ \_\_\_\_\_ (大阪, 486m) → 5cのヤマト政権④ \_\_\_\_\_ の墓

☆各時期の古墳の特徴等はワークシート5をやりましょう

<東アジア諸国との交渉> ☆教科書p.26の地図を要確認！！

4c初め…中国の分裂で支配力が弱まる。→東アジアの国家形成へ

○朝鮮半島 { 北：⑤ \_\_\_\_\_ …313 楽浪郡を滅ぼす  
南：馬 韓 (西側) ・ 弁 韓 (南側) ・ 辰 韓 (東側)  
後に⑥ \_\_\_\_\_ ・ ⑦ \_\_\_\_\_ ・ ⑧ \_\_\_\_\_ へ

・ヤマト政権は、伽耶と百済と友好的。

→共に高句麗と戦う ☆史料⑨ \_\_\_\_\_ (ワークシート5 史料1)

⇒騎馬など様々な技術を学ぶ&⑩ \_\_\_\_\_ より伝わる。

○中国…北魏と⑪ \_\_\_\_\_

↑ ⑫ \_\_\_\_\_ (讃・珍・済・興・⑬ \_\_\_\_\_) が朝貢

☆史料…⑭ \_\_\_\_\_ (ワークシート5史料2)

→朝鮮での立場を有利にしようとした。

まとめ～古墳の変化～

弥生時代後期から造られた墳丘が、古墳時代前・中期には大規模となった。形は画一的で当時から (① \_\_\_\_\_) などの政治連合があったと考えられる。また、後期になると小型化し、群集墳が見られるなど (② \_\_\_\_\_)、終末期には八角墳のように大王のみ特殊な形で権力を示し、 (③ \_\_\_\_\_)。 (約150字)

※②, ③は15字程度で考えよう！

ちなみに…大学入試の論述問題は1問200字くらいが平均的(筑波大は400字)です。国公立大の2次試験で日本史を使おうとした場合、論述問題はほぼ避けられません。この穴埋めをした後に、自分でも実際に書いてみて感覚をつかんでいこう！